

**特定非営利活動法人全国女性会館協議会 第64回全国大会
実施報告書**

1	日時	2020年11月25日(水) [基調講演のみ、11月26日～12月3日配信]
2	会場	くまもと県民交流館パレア 男女共同参画センター
3	主催	特定非営利活動法人全国女性会館協議会 くまもと県民交流館管理運営共同企業体
4	共催等	共催: 熊本県 協賛: 日本テトラパック株式会社、株式会社お菓子の香梅、重光産業株式会社 後援: 株式会社熊本日日新聞、株式会社熊本放送、株式会社熊本県民テレビ、 株式会社テレビ熊本、熊本朝日放送株式会社、NHK熊本放送局、 株式会社エフエム熊本、株式会社熊本シティエフエム
5	主題	連携から連帯へ、今こそジェンダー平等へのムーブメントを
6	募集方法	①会員館への要項・参加申込書のメール配布 ②チラシ ③ホームページ(全国女性会館協議会)
7	プログラム	<p>11月25日(水) ※オンラインで開催</p> <p>①開会式</p> <p>◆オープニングムービー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="font-size: small;">最大18万人を超える選考者 指定選考所では収容しきれず選考所も 大混雑。自主選考所が続々と...</p> <p>◆主催者挨拶</p> <p>蒲島 郁夫(熊本県知事) 納米 恵美子(特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事) 藤井 宥貴子(くまもと県民交流館パレア館長)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◆来賓祝辞</p> <p>林 伴子(内閣府男女共同参画局長) 浅田 和伸(文部科学省総合教育政策局長)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

②第14回事業企画大賞表彰式

- ・事業企画大賞(1事業)、奨励賞(3事業)、協議会特別賞(1事業)表彰
- ・講評 審査委員長 加島 裕士(熊本県経営者協会専務理事、くまもと市男女共同参画会議委員)
- ・事業企画大賞 大賞事業紹介

「女性会館発！パープルリボンプロジェクト」事業
静岡市女性会館

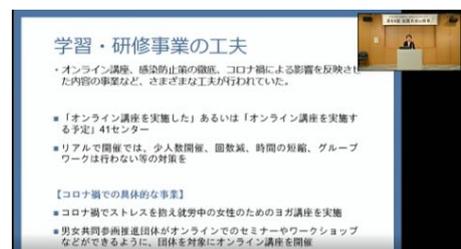
- ・協賛会社メッセージ 日本テトラパック株式会社



③報告

「コロナ禍での男女共同参画センターは何かできて何ができなかったのか」
新型コロナウイルスが男女共同参画センターの管理運営及び事業に及ぼす
影響についてのアンケート調査結果報告

報告者: 納米 恵美子(全国女性会館協議会 代表理事)



<休憩>



④分科会

○女性の政治参画を男女共同参画センターで推進していくためには

講師・ファシリテーター: 三浦まり(上智大学法学部教授)

○どんな手法で、どう伝えていくのか? 新しい時代の男女共同参画推進事業

発表者: 黒澤あずさ((公財)日本女性学習財団学習事業課長、全国女性会館協議会常任理事)

阪口さゆみ(世田谷区立男女共同参画センターディレクター、全国女性会館協議会常任理事)

ファシリテーター: 富岡若菜(くまもと県民交流館パレア男女共同参画センター)

○災害多発時代における男女共同参画センターの果たすべき役割とは

発表者: 木須八重子(前(公財)せんだい男女共同参画財団理事長)

平賀圭子(NPO 法人参画プランニング・いわて理事長、前もりおか女性センター長)

ファシリテーター: 藤井宥貴子(くまもと県民交流館パレア館長)



⑤閉会式 全国女性会館協議会全体会

・分科会の報告



・協議会より事業説明・報告、連絡・周知事項の伝達

8	基調講演	<p>オンラインで開催</p> <p>配信期間:11月26日(木)～12月3日(木)</p> <p>「きれいごとを諦めない～コロナの時代を生きるヒント～」</p> <p>講師:小島慶子(エッセイスト、タレント、東京大学大学院情報学環客員研究員)</p> 
9	事業企画大賞	<p>①事業企画大賞</p> <p>◆事業企画大賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市女性会館 「女性会館発！パープルリボンプロジェクト」 ◆奨励賞 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市男女共同参画センターすくらむ 21 「『シニアシングル女性のためのサバイバル読本』制作につなげる 防災・減災分野の女性リーダー養成研修プロジェクト」 ・熊本市男女共同参画センターはあもにい 「男性に知ってほしい！男女共同参画とダイバーシティ はあもにいメンズカレッジ(A) GE ジャーナル(B)」 ・城陽市男女共同参画センターぱれっと JOYO 「ひとりひとりが暴力に NO！JOYO ムーブメント～デート DV 編～ 『恋愛とデート DV と人間関係』冊子作成」 ◆特別賞 <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市女性センター 「男女共同参画情報紙の編集及び発行」 <p>②審査委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆審査委員長 加島 裕士(熊本県経営者協会専務理事、くまもと市男女共同参画会議委員) ◆審査委員 宇野 文重(尚綱大学現代文化学部・文化言語学部准教授) 早崎 由利子(肥後銀行人事部人事相談室業務役) 柴田 美代子(特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事) 藤井 有貴子(くまもと県民交流館パレア(男女共同参画センター)館長)

10	参加者数、アンケート結果	<p>◆申込み者数 会員館関係者(含、県内市町村担当者・団体等) 142人 会員館数 48館 基調講演申込み者数 330人</p> <table border="1" data-bbox="416 327 1439 1140"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加者数</th> <th>回収数</th> <th>アンケート</th> <th>大変満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業企画大賞 (Youtube数)</td> <td>80</td> <td>32</td> <td>23</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>基調講演 (11/26~12/3配信)</td> <td colspan="8">人数カウント不可。</td> </tr> <tr> <td>報告 (Youtube数)</td> <td>80</td> <td>38</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分科会①(女性の政治参画)</td> <td>36</td> <td>17</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分科会②(新しい時代の男女共同参画事業)</td> <td>43</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>分科会③(災害多発時代の男女共同参画センターの役割)</td> <td>44</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>全体会</td> <td>77</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		参加者数	回収数	アンケート	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	事業企画大賞 (Youtube数)	80	32	23	9	0	0	0	0	基調講演 (11/26~12/3配信)	人数カウント不可。								報告 (Youtube数)	80	38	27	11	0	0	0	0	分科会①(女性の政治参画)	36	17	9	8	0	0	0	0	分科会②(新しい時代の男女共同参画事業)	43	13	8	5	0	0	0	0	分科会③(災害多発時代の男女共同参画センターの役割)	44	15	10	5	0	0	0	0	全体会	77	33	21	12	0	0	0	0
	参加者数	回収数	アンケート	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答																																																																		
事業企画大賞 (Youtube数)	80	32	23	9	0	0	0	0																																																																		
基調講演 (11/26~12/3配信)	人数カウント不可。																																																																									
報告 (Youtube数)	80	38	27	11	0	0	0	0																																																																		
分科会①(女性の政治参画)	36	17	9	8	0	0	0	0																																																																		
分科会②(新しい時代の男女共同参画事業)	43	13	8	5	0	0	0	0																																																																		
分科会③(災害多発時代の男女共同参画センターの役割)	44	15	10	5	0	0	0	0																																																																		
全体会	77	33	21	12	0	0	0	0																																																																		
11	感想	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでしたが、リアルであるようなとても WARMY な大会であったと思います。 ・大変勉強になりました。直接お会いできないのは残念ですが、オンラインでもみなさんとお会いでき、これから頑張っていくパワーをいただきました。 ・直接お会いすることは叶いませんでしたが、みなさんとオンライン上でつながることができて有意義な時間となりました。 ・今回初めて参加させていただきました。各センターの皆様等と画面上ですがお会いすることができてうれしかったです。なかなか、直接他府県の会議へ参加することは難しいのですが、今後も、リアルとオンラインの複合での会議開催ができるのであれば、毎年参加したいと思います。 ・オンラインですが、熊本の皆様のあたたかさをしっかりと感じ、熊本に行きたくなりました！ ・センターから複数人のご参加を認めていただきありがとうございました。参加側の PC が足りず、カメラもマイクも使えない機器からの参加で申し訳なかったです。自分にとっては、参考になる情報、ご意見を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。 ・会議室などへの移動がないため、凝縮した時間の中でフルに話し合いが運営できたのでは？と思います。 ・藤井館長の「微力だが無力ではない」と言葉が、印象的でした。参加して、有意義な情報をいただけたので、事業に反映していきたいと思いました。 																																																																								

- ・初のオンライン開催となり、この日までの準備はとてとても大変だったことと思います。何より実施できたことが素晴らしかったですし、熊本の復興を後押しする企画だったと思います。
- ・度重なる大災害に見舞われた熊本での開催、また初オンライン形式ということで、ご苦勞多々あったとお察しいたしますが、終日非常に有意義なプログラムを体験させていただきました。皆様のお話に、日々のご活動の厚みを実感しました。ご準備に当たられた皆様に敬意を表しつつ、心よりお礼を申し上げます(くまモンも楽しく踊りました！)。

様々なお話を伺う中で、男女センターの強みはなんといっても、各地域のニーズを鋭敏に拾い、多様な主体とつながって、じわじわと堅固な基盤を形成できることだ、と改めて思いました。この全国大会は、男女共同参画を地元根付させる知恵を交換できる、年に一度の貴重な機会と思っておりましたが、月例のオンライン交流会が始まったとのこと、とても良いアイデアだと思いました。全国調査の結果を含め、本日学ばせていただいたことを糧に、また少しでも役に立つ研修企画を練ってまいりたいと思っております。
- ・今まで財団の予算や時間の関係で、大会に私自身の参加経験はありませんでした。今回はオンライン活用ができるため、職員にも参加を勧めることができました。どの内容もセンターの取り組みを深く知る機会になり、来年度の企画をするにあたり、再度検討をしようと考えます。
- ・ウィズコロナの時代の事業実施についてたくさんヒントをもらい、よかった。
- ・オンラインでほかの男女センターの方々と交流ができて有意義なセミナーでした。来年度に向けてオンラインでのセミナーも検討していきたいです。
- ・全てに参加できる予定でしたが、一部にしか参加できず残念でした。男女共同参画センターが果たすべき役割について再考する貴重な機会となりました。
- ・初めてのオンラインでの全国大会の開催、大成功、熊本の皆様、はじめ関係者の皆様のご苦勞、ご尽力に心から感謝申し上げます。本当に素晴らしい大会でした。熊本へ伺えなかったのは本当に残念でしたが、くまモンはじめ大歓迎いただき、そのお気持ちが嬉しく、重ねてお礼申し上げます。私のつたないPC知識と技能のため、参加ログインに戸惑い・間違い、熊本の皆様にご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。全国から参加された方のお顔も拝見でき一人旧交を温めました。
- ・熊本に伺えなかったのは大変残念でしたが、Zoomによる全国規模のワークショップに参加し、このような形で気軽に集まることができることに感動しました。
- ・コロナ禍にあって準備にご苦勞があったと思いますが、素晴らしい開催内容だと思います。熊本県知事のご挨拶が身近に感じられました。
- ・コロナ禍において、十分以上な開催をされたこと素晴らしいと思いました。
- ・調査報告や分科会にて各男女センターの皆さんがコロナ禍でどのように工夫され、どのようなことに課題を持ったのかを伺うことができ、そこから、今後何を目的とし、視点をどこに持って事業を運営していくのかを考える貴重な時間となりました。このような場で情報交換ができることは大変ありがたかったです。

分科会

- ・分科会でのグループワークは大変勉強になりました。
- ・分科会でのディスカッションもとても楽しく、もっと話したいと思いました。オンラインでの開催、とてもご苦勞されたと思いますが、開催いただきありがとうございました！
- ・分科会の中でも少人数のグループで会話することで、気軽にテーマについて語り合うことができました。今後の事業企画、運営に活かして参ります。
- ・ZOOM を活用したある程度大規模なイベントやグループセッションの実施のしかたについて、とても参考になりました。
- ・防災の担当者となったばかりのため、皆様方のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。男女共同参画センターの皆様方と連携して、これから何をすべきか、何ができるかを考えてまいりたいと思います。
- ・災害の分科会に参加させていただきました。東日本大震災、熊本地震での男女共同参画センターの働きを改めて概観でき、ずっと育ててこられた相互支援システムという事業の展開にも期待が膨らんだところです。また、ブレイクアウトセッションでは、各地でさまざまな取組が始められている様子を直に伺うことができました。時間の制約もあったかと思いますが、欲を言えば、防災という切り口で男女センターにおける具体的な取組事例について、もう少し深く知ることができたら多くのセンターの参考になるのでは、とも思いました。
- ・分科会1に参加させていただきましたが、講義はもちろん、皆さまの取り組み状況を聞かせてもらうことができ、とても勉強になりました。ZOOM でのグループワークも良かったです。本日の学びを今後のセンターの取り組みに活かしていきたいと思いました。
- ・分科会 1 の三浦先生の講義は大変勉強になりました。何度聞いても、自分自身の担当事業の企画内容を振り返る指針となります。短い時間でしたが、他のセンターの皆さんと交流ができ、貴重な時間を過ごすことができました。
- ・第 2 分科会に参加しましたが、オンラインでのメリット・デメリット、苦勞や工夫などを聴くことができ、今後の事業展開の参考になりました。主催者の皆様には今までと違ったご苦勞があったと思いますが、新しい時代の始まりにふさわしい有意義な全国大会になったと思います。

基調講演

- ・基調講演の動画配信のみを拝聴させていただきました。小島さんの男女共同参画に即した話をコロナ禍の生き方と絡めての講演は良かったです。自分の行動を見直す気付きにもなり、学びの多い時間でした。動画配信も無理なく観ることができ、全国大会に関わる方のご尽力のおかげです。
- ・小島さんの基調講演の内容は、多様な人との共存について、わかりやすく伝えていただき、面倒だけど、あきらめずに対話していく重要性を再確認いたしました。
- ・基調講演は、今まさに生起している世界的な状況における困難と男女共同参画に取り組む中で壁となる「きれいごと」という重なり合う、共通した、軽視されがちな認識、取り扱いを打破する「きれいごと上等」という明確なメッセージが痛快でした。背中を押されるというか背中に優しく手を当てていただいているような温かいメッセージでした。

		<p>・小島慶子さんのお話の中で「気負わない」という言葉がとてもいいなと思いました。私は行政職員なので、間違っことを言っはいけないとか、正確に伝えなければいけないというのが優先してしまい、いつも気負って話してしまいがちです。気負うということは自分に意識が向いているということなので、もっと相手に意識を向けて相手の立場になって考えていきたいと思いました。そして、ポストコロナは、多様性の時代であるとも思いました。日常生活の同じ問題に対して、良くも悪くもセンシティブになっているので、これまでと比べて日常会話の中でも対話が増えているように感じます。そのような中で、固定観念や慣習を見直す機会になっていけばいいなと思っています。</p> <p>・オンライン開催、お疲れ様でした。画面がとても美しく、また手話の方の映像もとてもよかったです。参考になりました。</p>
12	主催者感想	<p>第64回全国大会 in 熊本にご参加いただきました全国の皆様に心より御礼を申し上げます。今回の大会は本県にとって、2016年の熊本地震からの復興の状況をご支援いただいた皆様にご報告できる大きな節目の大会であると思っていました。しかしながら開催を決めた直後の新型コロナウイルスの感染拡大、さらに熊本県南地域の豪雨災害という状況に見舞われ、開催までにはかなりの紆余曲折がありました。</p> <p>そんな中でも、「やはり今だからこそ、この熊本からしか発信できないことがある」と思わせてくれたのは、熊本地震のつらくきびしい記憶と被災経験から得た教訓でした。私たち熊本県民は被災経験を通して、平時における男女共同参画の課題は災害時にさらに増幅され、その後の復興過程においても、特に社会的な弱者とされる人々の暮らしに大きな影を落としているということを実感しています。また人と人とのつながり・絆こそが、自らを支え、絶望の淵から救ってくれるということも経験しました。今回の大会のテーマを『連携から連帯へ。今こそジェンダー平等へのムーブメントを』とした理由もそこにあります。コロナ禍の中にあってきびしい時だからこそ、今こそ男女共同参画の推進が重要であるということ全国に発信し、その取り組みを皆で加速して進めなければならないと強く思ったからです。</p> <p>初のオンライン開催ということで、実際の舞台裏では複数のアクシデントも発生し、課題も残った大会にはなりましたが、多くの方々のご協力・ご支援を頂き、予定していた内容については何とか進行することができました。失敗を恐れずチャレンジしたことで、新たな一歩を踏み出せたのではないかと考えています。何より、私たちは離れていてもつながり合い、知恵を出しながら、ムーブメントを起こせる立場に立っているということを理解し合えたのではないのでしょうか。</p> <p>最後になりましたが、本大会開催に際しまして、ご支援を賜りました関係各所の皆様方に心より御礼申し上げます。2021年 秋田大会のさらなる盛会を祈念しています。</p> <p>(熊本県民交流館 パレオ館長 藤井 宥貴子)</p>